

山口市老人クラブ連合会会員広報紙

シニア山口だより

Vol. 38

発行 シニア山口(山口市老人クラブ連合会) 〒753-0034 山口市下笠小路 254 番地 電話 083-922-7121
編集 シニア山口事務局 編集協力(株)博報社 大阪市平野区喜連西 4-6-69 電話 06-6797-0212 FAX 06-6797-0479



今年度のシニア山口について

山口市老人クラブ連合会

会長 中村 勝一

令和 6 年 5 月、山口市老人クラブ連合会の総会において、令和 5 年度決算報告並びに監査報告が承認され、令和 6 年度事業計画予算(案)についても承認されました。

執行部全員任期は残り 1 年ですがよろしくお願いいたします。

さて、山口市において高齢化率は 30% を越え、要介護の増加、社会保障費や介護の人材不足など深刻な状況になっています。

国、県、市においては介護予防や生活支援総合事業を進めているところですが、行政は、社会福祉に関する体制を、関係団体は予算と人材を具体的に示すことが重要になってきました。

山口市老人クラブ連合会は、会員増強と支え合いを重要課題としていますが、会員減少

が止まりません。

分母となる高齢者数は増えているのに会員数が増えない原因は何故でしょうか? 各 6 支部長さん初め、単体会長さんにおいて一生懸命努力し、各地域の会員加入促進を推進して頂いています。

各地域において、自治会、地域づくり協議会、地区社協、婦人会、民生委員児童委員協議会などの諸団体と老人クラブとのコミュニケーションの機会を多く作る事に努力をして、各地域の問題点に焦点をあて、何が問題なのか、情報交換をする機会の必要性を感じています。

私達は経験と知恵とコミュニケーション能力を十分發揮してこの難しい課題を改善していきたいと思えます。介護予防と日常生活支援総合事業、これは

高齢者同士の支え合い活動になります。高齢者のちょっとした困りごとを解決することにより、住み慣れた地域で暮らせるように支援する事、又、その活動が地域住民の意識の醸成を図る事により、福祉力が高まることを目的とします。その為にも自治会、地区社協、地域づくり協議会、婦人会、地域包括支援センター等との協議体を結成して、前に進めていただければと思います。

山口県における人口減少、少子高齢化において課題が多くあります。まずは、各地区で考察して、できることから行動に移して頂きたいと思えます。

終わりに、会員の皆様のご健康と更なる幸せをお祈り申し上げます。

令和6年度シニア山口役員

職名	氏名	部会/支部	備考
会長	中村 勝一	総務部会/小郡支部	
副会長	阿部 和雄	総務部会/山口支部	
副会長	坂野 隆道	総務部会/秋穂支部	
副会長	松崎 幸久	総務部会/阿知須支部	
副会長	山本 清作	総務部会/徳地支部	
副会長	渡邊 建一	総務部会/阿東支部	
副会長 女性委員長	高橋 厚子	総務部会/阿東支部	
副会長 若手委員長	深光 武夫	総務部会/山口支部	
理事	岡本 忠良	山口支部	
理事	藤井 保行	スポーツ健康部会/山口支部	
理事	渡辺 通章	スポーツ健康部会/山口支部	
理事	藤井 朝子	山口支部	
理事	松永 八郎	スポーツ健康部会/山口支部	新任
理事	桶島 猛男	スポーツ健康部会/小郡支部	
理事	田中 康夫	小郡支部	
理事	松本 敏子	スポーツ健康部会/秋穂支部	
理事	河村 俊明	スポーツ健康部会/阿知須支部	
理事	坪本 栄	スポーツ健康部会/徳地支部	新任
理事	松岡 才記	阿東支部	
理事	杉 謙一郎	阿東支部	
監事	田中 菊次	秋穂支部	
監事	橋本 皓一	阿知須支部	

(令和5年4月1日~令和7年3月31日)

令和6年度シニア山口(市老連)総会を開催

令和6年5月9日(木)、山口県社会福祉会館大ホールにて令和6年度シニア山口(市老連)通常総会を開催いたしました。

まず、初めに会長中村勝一より開会の挨拶がありました。また、来賓として、山口市健康福祉部部長 鈴木徹行氏、山口市社会福祉協議会会長 徳永雅典氏よりご挨拶を頂きました。

事務局より、総数56名中49名(委任状を含む)が出席し、本日の総会が成立したことを報告。川野幸生評議員の司会進行のもと、議長に松本敏子理事を選出し、議案について慎重に審議が行われました。

◇第1号議案

(1)令和5年度 山口市老人クラブ連合会事業報告・収支決算報告及び監査報告について

◇第2号議案

(1)令和6年度 新理事について

◇第3号議案

(1)令和6年度 山口市老人クラブ連合会デジタルデバイスについて

◇第4号議案

(1)令和6年度 山口市健康づくりふれあい大会・山口市健康増進老人福祉大会予算書(案)について

ついて

(2)令和5年度 山口市健康づくりふれあい大会・山口市健康増進老人福祉大会・ICT活用推進事業・デジタル活用リーダー育成事業 事業報告・収支決算報告及び監査報告について

(2)令和6年度 山口市老人クラブ連合会事業計画(案)・収支予算(案)について

◇第5号議案

(1)山口市老人クラブ連合会総務部会設置要綱(案)について

老人クラブ連合会事業方針(案)について

ド対策事業の予算書(案)について



すべての議案は原案通り承認され、阿部和雄副会長の挨拶で閉会しました。

令和6年度 シニア山口 事業方針



魅力あるクラブづくりを

高齢社会を迎え、特に山口市では高齢化率が30・45% (令和6年2月末) で、3人に1人が高齢者という状況になっていますが、地域づくりやまちづくりにおいては、高齢者の参加や協力が不可欠であり、高齢者の豊富な知識や経験が必要とされています。

一方、高齢化が進むとともに、高齢者の要介護の増加、社会保障費や介護人材の不足が深刻になります。介護保険も、保険給付頼みではなく、本人の力や住民相互の力も引き出して、介護予防や生活支援総合事業を進めていくことが必要に

なります。そして、団塊の世代が75歳以上になる2025年には「地域包括ケアシステム」を中心とした新たな介護福祉の制度が始まります。この制度では地域における相互の支え合い活動が重要になると考えられています。活動を推進する組織や担い手の準備はいまだに整っていません。「シニア山口」として、このシステムの構築に向けて、行政や関係団体への積極的な働きかけが求められています。

さらには、高齢者自らの健康づくりや生きがいづくりを推進するためには、その中心となるべき「シニア山口」の活動の活性化や若手高齢者の加入促進、役員等後継者の人材育成が急務となっています。

これらの課題を踏まえ、真に豊かで楽しい魅力あるクラブづくりと多様化する高齢者ニーズに対応できる組織づくりを目指し、次の事業を中心に様々な活動を展開します。

【重点目標】

①若手会員増強運動への取組

単位老人クラブあたり2〜3人の新規会員増強
各支部あたり74歳以下会員2%の増強

②高齢者同士の支え合い活動 (介護予防・日常生活支援総合事業)

③高齢者の健康づくり (フレイル (虚弱) 予防活動)

【主要事業】

①全国3大運動「健康・友愛・奉仕」活動を推進することとし、活動が円滑に行えるため活動の中心は支部とし、実践は単老とします。

②市老連会員の一体感を深め、会員相互の親睦を図り併せて関係諸団体との交流活動を盛んにするため、各支部において、趣旨に沿った事業を開催します。

●健康づくりふれあい大会 (山口市、山口市社会福

祉協議会等と共催)

●健康増進老人福祉大会 (同右)

●山口市老連グラウンドゴルフ大会

●山口市老連会長杯健康ゴルフ大会

●市町老人クラブ連合会活性化事業の推進

●県老人クラブフォーカダンスフェスティバル・交流会

③「会員増強運動」は重要課題であり、組織強化のため引き続き推進すると共に、「シニア山口」への高まる期待に応え、会員相互が共に考え共に行動することができるとクラブを目指します。

また、会員の高齢化が進む中、60代から70代前半の会員の確保は非常に重要な課題となっており、この年代の会員確保には特に力を入れて取り組めます。

さらには、継続的な会員確保のために、新たに40〜50代の準会員 (サポート会員) 制度を創設し、若年層とのつながり

を深めていきます。

④「シニア山口」は「若手委員会・女性委員会」が積極的な事業の先導役となり各支部の活動に派生するように推進します。

⑤老人クラブの活動をより多くの人に広報するため、広報紙「シニア山口だより」を年2回発行し、会員及び関係各所に配布します。

⑥山口市 (各総合支所) や関係団体、特に山口市社会福祉協議会と連携し、諸問題を共有しながら高齢者の「生きがいづくり」の構築に努めます。

⑦2023年度4月から2027年度まで山口市・山口市社会福祉協議会により実施計画されている、山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画に対応し推進します。

⑧真に各支部が自立し、自主的に運営できる体制づくりを検討し、地区若手単老の充実を図るよう努力します。

令和6年度 シニア山口事業計画

月	日	曜日	行 事	場 所	備 考
4月	5	金	市老連監査会	山口市福祉センター	
	6(土)~15(月)		「春の全国交通安全運動」		
	11	木	第1回市老連会長・副会長・事務局会議	山口市福祉センター	
	23	火	市老連理事会	山口市福祉センター	
5月	9	木	市老連総会	山口県社会福祉会館	
	21	火	第1回若手委員会	山口市福祉センター	
	23	木	県老人クラブフォークダンスフェスティバル(春季)	リフレッシュパーク	
	24	金	県老人クラブフォークダンスフェスティバル(春季)	阿東地域交流センター	
	28	火	第1回女性委員会	山口市福祉センター	
31	金	県老人クラブフォークダンスフェスティバル(春季)	小郡ふれあいセンター		
6月	4	火	第1回スポーツ健康部会	山口市福祉センター	
	13	木	第2回総務部会会議	山口市福祉センター	
7月	11(木)~12(金)		中・四国ブロック老人クラブリーダー研修会(全老連主催)	徳島県	
	11(木)~20(土)		「夏の交通安全県民運動」		
	25	木	第2回若手委員長会	山口市福祉センター	
8月	20	火	第3回市老連会長・副会長会議(表彰者審査会)	山口市福祉センター	
9月	6	金	市町老人クラブ連合会運営研究協議会	山口県社会福祉会館	
	15(日)~21(土)		老人週間		
	20	金	全国一斉「社会奉仕の日」	各地域	
	21(土)~30(月)		「秋の全国交通安全運動」		
10月	1	火	第18回シニア山口会長杯健康ゴルフ大会	アイランドゴルフガーデン宇部	
	8	火	第2回スポーツ健康部会	山口市福祉センター	
	10	木	県老人クラブフォークダンスフェスティバル(秋季)	リフレッシュパーク	
	17	木	第2回女性委員会	山口市福祉センター	
	23	水	県老人クラブフォークダンスフェスティバル(秋季)	阿東地域交流センター	
	29	火	第19回シニア山口グラウンドゴルフ大会	山口きらら博記念公園	
	31	木	第74回山口県総合社会福祉大会(県社協主催)	長門市	
11月	5	火	市町老人クラブ連合会活性化事業	山口県総合保健会館	小郡支部担当
	20(水)~21(木)		全国老人クラブ大会(全老連主催)	神奈川県	
12月	28	木	第4回総務部会会議		
	19	木	第3回女性委員会		
	10(火)~1/3(金)		年末年始交通安全運動		
1月	9	木	第5回総務部会会議(新年会を兼ねる)	山口市福祉センター	
2月			地域支え合い活動研修会(仮)		
	13	木	第3回若手委員会	山口市福祉センター	
3月	3	月	女性委員研修会	山口県総合保健会館	
	6	木	県老人クラブフォークダンス交流会	リフレッシュパーク	
	11	火	第6回総務部会会議	山口市福祉センター	
	12	水	市町老人クラブ連合会代表者会議(県老連主催)	山口県社会福祉会館	

※健康づくりふれあい大会・健康増進老人福祉大会については支部開催といたします。

※スマホ教室は今年度も開催します。

令和6年度 シニア山口収支予算

収入の部

円

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
繰越金	131,244	162,288	△ 31,044	各支部から負担金、会費が納入されるまでの期間 (4月、5月、6月)の運営費
会 費	948,255	1,004,025	△ 55,770	県老連会費(各支部から)@100×5,747人=574,700 市老連会費(各支部から)@ 65×5,747人=373,555
活動費 補助金	3,099,254	3,126,970	△ 27,716	活動費補助金(市から) 2,741,784 福祉団体活動支援事業補助金(市社協から)357,470
事業費 補助金	30,000	30,000	0	市町老人クラブ連合会活性化事業補助金 (県老連から)
各支部 負担金	300,000	300,000	0	50,000×6支部=300,000
雑収入	10,000	20,000	△ 10,000	フォークダンス連絡協議会事務手数料・謝金・利息等
計	4,518,753	4,643,283	△ 124,530	

支出の部

円

科目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
活動費 補助金	3,099,254	3,126,970	△ 27,716	市からの活動費補助金(各支部へ) 2,741,784 市社協からの補助金(各支部へ) 357,470
活動費	120,000	135,000	△ 15,000	健康づくりふれあい大会 20,000 老人福祉大会 20,000 グラウンドゴルフ大会 30,000 市町老人クラブ連合会活性化事業補助金(小郡支部へ) 10,000 女性委員会 20,000 会議費 20,000
負担金	574,700	608,500	△ 33,800	県老連へ会費として @100×5,747人=574,700
事業費	30,000	30,000	0	市町老人クラブ連合会活性化事業補助金 (小郡支部へ)
事務費	10,000	20,000	△ 10,000	事務用品代他
賃 金	602,640	576,720	25,920	@930円×6H×108日
慶弔費	10,000	10,000	0	
次年度 支払準備金	71,159	135,093	△ 63,934	
予備費	1,000	1,000	0	
計	4,518,753	4,643,283	△ 124,530	

「山口県大島防災センター」 日帰り研修を終えて

山口支部 鑄銭司地区 藤井 敏男

昨年12月8日(金)に周防大島町久賀、周防大島防災センターに、会員20名(マイクロボス1台)で行きました。目的は

- ①会員の防災意識を高める。
- ②会員の仲間づくり、親睦。
- ③会員の増強。

最初に少しだけ、シニア長沢倶楽部の紹介をさせていただきました。昨年6月1日、訳あって37名のメンバーで再結成した新参加者です。私自身、この組織入会2年生です。シニア長沢倶楽部の名称は、常盤湖(宇部)に次ぐ長沢の池が地区に存在することから命名しました。

私たちの活動指針(モットー)は
(1)自分の健康は自分で守る。(人に迷惑をかけないように)、好きなことをして健康寿命を延ばす)

(2)仲間づくり。人の輪を広くつくろう。

(3)高齢者でも出来る、ボランティア活動への積極的参加。

を目標に掲げ、山口支部、シニア鑄銭司の指導を仰ぎながら活動を始めたところ

です。当日は天候にも恵まれ、午前9時、会員20名を乗せたマイクロボスは山口南イセンターを出発し、一路防災センターに。玖珂イセンターを降りて大島大橋を渡り、10時30分頃に山口県大島防災センターに到着しました。当日は別の予約の団体が来ておられたことから、約1時間弱、地震と津波対策の講習を受けました。特に印象に残っていますのが、鑄銭司地区で大規模水害、洪水が発生した場合は山口南イセンターより西側は大体浸水することが、画像のシミュレーションでわか

りました。日常の防災に備えるうえで大変参考になりました。

その後、すぐ近くにありますが、明治100年記念公園に歩いて参りました。ここは長幕戦争、俗に言う四境戦争の大島口の戦いの記念碑として建てられた公園です。目前の前島付近で深夜、高杉晋作率いる丙寅丸から停泊中の幕府の船に砲弾を撃ち込み戦況を好転させた話を、歴史に詳しい会員の野村勝敏さんから現場を目前に説明を聞き、感動を受けました。

その後、安下庄の竜崎温泉にて皆さんで昼食をとり、伊保田の陸奥記念館に入館。同記念館は戦艦陸奥の遺品、遺物が展示されており、大正10年戦艦陸奥として完成し、当時は戦艦長門とともに、世界最大級の戦艦と言われたそうです。昭和18年岩国の沖、桂島付近の瀬戸内海で停泊中に原因不明の爆発で沈没し、死者1121名の尊い命が失われたそうです。

午後2時30分頃に記念館

を出発し、一路山口南イセンターに向かいました。限られた時間内ではありましたが、本当に内容の濃い研修であり、車中では終始、会員相互のコミュニケーション

を図りました。元気の源は出癖、内にこもらない。寝たきりまっしぐらの毎日の生活習慣にSTOPをかけましょう。



山口支部 行事報告



ゴルフ大会 結果(敬称略)

優勝	田中 克三(平川)
準優勝	吉岡 和男(佐山)
3位	岡村 秀幸(仁保)



優勝 田中克三さん

山口支部では、令和5年度最後の行事として「第8回山口支部長杯会員増強ゴルフ大会」を、3月13日(水)に泉水原ゴルフクラブで未加入者4名を含む38名の参加で行いました。天候にも

恵まれ、楽しくプレーされました。

もよいお話でした。午後には各地区で活動されている団体の演芸発表を行いました。

令和6年度に入ってから最初の大きな行事として、単老会長・地区若手委員研修会を6月11日(火)に山口市民館小ホールにて行いました。会員増強の事例発表として、吉敷地区木崎福寿会会長津森均さんに発表していただきました。また、大殿地区にある法界寺の辻田住職に「いのちを唄う」という題で引き語り法話をしていただきました。音楽も交えてのとてもよいお話



法界寺 辻田住職



木崎福寿会会長 津森均さん



6月27日(休)にはリフレッシュパークにて健康増進フォークダンス交流会を実施しました。38名の参加で楽しく交流が由来しました。



四階楼



上関大橋

8月1日(休)はリフレッシュパークで第4回会員増強カローリング大会を実施しました。28チーム



7月9日(火)には35名で研修旅行へ行きました。今年度は上関方面へのバス旅行で、城山歴史公園や四階楼などを見学しました。

山口支部では、今後も会員増強に向けての囲碁・将棋大会(12月)と支部長杯ゴルフ大会(3月)を予定しております。また秋にはグラウンドゴルフやベタンク大会もありますので、皆様のご参加お待ちしております。

カローリング大会 結果

優勝	大内A
準優勝	湯田B
3位	仁保A、小鯖B



優勝 大内Aチーム



85名の内、未加入者16名が参加し白熱した戦いが行われました。

令和6年度 被表彰者名簿

(敬称略・順不同)

◆全国老人クラブ連合会会長表彰
育成功労表彰

藤村 貢

◆全国老人クラブ連合会

◆活動賞

山口市大歳地区老人クラブ連合会

◆山口県老人クラブ連合会会長表彰

◆一般功労表彰

伊藤 一彦 宮崎 英和

岩本 好春 宮本 正夫

大下 茂満 本廣 隆久

岡本 清 山本 清作

梶原 信子 山本 光夫

徳永 義子 渡邊 久人

◆会員増強表彰

米生会(会長 藤生 通陽)

◆山口市老人クラブ連合会会長表彰

◆功労者表彰

上田 敏孔

山下トメ子

藤井 諭

平田 信子

秋本 勝江

近藤 一登

宮田 俊昭

岡本 忠良

藤田 貞雄

増田 輝夫

重田 強子

川尻 博之

坂野 隆道

◆協助者表彰

伊原 和子

浦部 貞男

奥屋千鶴子

松本 敏子

潮崎 正義

工藤 芳雄

池村 憲昭

下野 強

岡村 恭子

蔵田 秀夫

齊藤 信子

齊藤 博子

伊藤 保幸

川田由美子

野村 勝子

河村 憲治

吉野 實

潮見 洋一

白松 逸子

受賞された皆様、おめでとうございます

私の人生

阿知須支部

岡田

猛

1946年(昭和21年)終戦の次の年、現住所(山口市阿知須)に生まれ、4歳の時父を病気で亡くし、耕作は少ないが農家で子供の頃から母の手伝いをしながら育ちました。高校を卒業後、多くの同級生は近郷の宇部に就職。私は訪れた事のない防府市に就職しました。当時の通勤は宇部線、山陽本線と乗り継いで通勤。高校2年の頃、バイクブームで私も負けじと、自動二輪免許を取得。23歳の頃、念願のオートバイ(当時の白バイ専用車)を購入。皮ジャンをはおり、通勤やツーリングを楽しみました。九州一周等各地へ行きました。数年後、周防大橋が開通してからは、車通勤に。

仕事は今でいう「もの作り」。機械に使われるのではなく、機械を自由に使い、基本はあるものの、成型、形は自分の思いを製品に込め、あきらめ事なく64歳まで勤めました。今も昔の仲間と年2回、上



下関係なく、飲んだり昔の行き付けの店でカラオケで楽しんだりしています。趣味といえば、就職して周もなく釣りを始めました。防府といえば沖に

は船で40分の野島があり、週末の仕事後の夜釣りに仕事仲間と釣行、山越えでの岩場へ競争で好釣り場所へ。当たれば良型のアジを20Lのクーラー一杯釣れる事も。又、夏は潜り。岩揚が多くサザエ、アワビも沢山取りました。

釣りは40歳頃からは投げ釣りに変わり、主にキス釣り。遠くは天草、平戸、隠岐の島へも釣行。型は27、28cm。目標の30cmは夢物語でしたが、今も暇をみては県内の須佐、周防大島に出掛けます。海を眺める事は目の保養(遠くを見る)になります。私は後期高齢の75歳になるまでは、ケガ以外は医者には無縁でしたが、誕生日当日に「急性糖尿病」と診断され、宇部医大へ。45日入院(連日の飲酒が原因かも)。70歳を過ぎると、体も

あちこち衰えが出てきました。

車のように「メンテナンス」が可能ならよいのですが、今は現状維持を保とうと体を動かす事にしていきます(本気ではないが)。

阿知須の我が地域の老人クラブには、5年前に入会。当時は会員も20数人おられたが、亡くなられたり、施設に入られたりと今は半数に減り、若い人に入会を勧めても難しいです。

今年6月には78歳。若い頃は熟睡タイプで早起きでしたが、最近は「こま切れ睡眠」状態で寝つきも悪く、夜中に何度も目覚める。従って朝はウトウトと7時頃起床する始末。

今からの人生、好き勝手の生活を過ごしており、長生きの自信はありませんが、阿知須地区の「若手委員」の役を頂き、元気で楽しく趣味(釣りとドライブ)も1年でも長く継続して「生き」たいと思っています。

運動と趣味を忘れず楽しく長生き、したいです。

会員文芸

上東福寿会 上東川柳俳句の会

俳句

夏の空歴史を語る藤序門

小田 幸栄

春泥をこぼし田植え機Q号線
升酒の杉の香嬉し初しぼり

福田 直樹

一の坂の光る螢の夢に覚め
梅雨空に開けし窓辺の鳥立ちぬ

大木 和子

登校の子ら澆刺と春紫苑
柿若葉映る微かな夕日影

桂田 昌坦

藤棚の風にレノファの応援歌
山裾に田植待ちたる水鏡

弘中 和己

緑台で駒音高くへぼ将棋
雨上がりビール片手に夕涼み

齋藤 昭司

朝散歩露の蜘蛛の囲輝きて
小蟻蟬睨み構える庭畑



川柳

濡れ若葉シオカラトンボが飛び回る
ヨタへ口で真夏を過ぎす幸せを

齋藤 咲子

蛙鳴くゆる夕焼け空を染め
石畳這いずる蚯蚓参詣し

盛田 隆

鼻肩勝ったスポーツニュースをハシゴする
鼻肩負けたスポーツニュースが憎たらしい

守永 修平



日々満員国技うならす大の里
台湾の有事案じる元の住所

齋藤 咲子

ピンポンで孤独と不安ピンポン
バス旅行トイレの心配なけりや行く

齋藤 昭司

競い合ひスマホと頭薄くなる
友に言う冥土で待つてる男泣き

弘中 和己

通知表親への開示は十年後
口喧嘩妻いる幸せ感じてる

小田 秀昭

同じとこ幾度も読んで納得し
異常なし医師は言うけどする目眩

田中 玲子

耳遠い同志の会話おだやかに
健康だ今日も元気に病院へ

桂田 昌坦

機械浴フライに揚がる心地する
入所の身つばめは帰るもとの巣へ

大木 和子

おつりはいらんよ千円札で見えを切る
爺の口調 子には辛口孫には甘口

藤屋 靖夫

野苺をほおばるちいと酸い
風鈴が鳴らん風も吹かん

福田 直樹

一歩引くコツを覚えて波静か
園遊会妻の名札に名前ない

小田 幸栄

生まれ来てああ良かったと言って死ね
卒寿過ぎさらに二歳よく生きた

山本 孝夫

家の中一人遊びの常日頃
選挙戦公約倒れ人気取り

盛田 隆

富士川をうまく潜つてリニア背伸びする
ゴミ風船児戯のたわむれせいぜいだ

岡田陽之介

あなたも 「シニア山口」に 入会しませんか？

いちばんの魅力は仲間がいる（見つかる）ことです。外出機会が少なくなる高齢期に、声をかけ合い、情報を届けてくれる仲間がいることは大きな安心です。いくつになっても参加できる活動があり、退職後の活躍の場としても、これまでの知識や経験が生かれます。



問い合わせ先 山口市老人クラブ連合会事務局
山口市福祉センター内
☎ 083-922-7121

原稿募集



次号、「シニア山口だより」第39号は令和7年10月に発行する予定です。老人クラブの皆さん原稿をお寄せください。単位老人ク

ラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅の思い出、健康に関すること、地域の風物など、何でも結構です。市老連事務局までご送付ください。

◎原稿は、題名・氏名・電話番号・支部名(所属地区老連名)を明記のうえ、800字程度でお願いいたします。

◎活動記などは、写真があれば一緒にお送りください。

◎俳句・短歌・川柳もご自由に投稿ください。ただし、どの部門かを明記願います。

◎原稿締切 令和7年5月末



スマホのお悩みにも
応えます！



月～日

① 6:25～6:40 山口ケーブルビジョン **12** chで放送中！
② 14:25～14:40 (毎月1日内容更新)

ウェブサイトはこちら▶



感激!! 覚えていてくれたんだ 上郡小学校の子どもたち

小郡支部 重田 強子

「あっ!? 昔のくらしの人」と声をかけてくれたのは小学4年生かな?? そうだ、昔のくらしについてみんなで小郡の歴史や人口の移り変わりを勉強したっけ。キッチンで使っていた、いえいえ、今でも年3回から4回は使っています。その昔の道具とは? かまどで薪を燃やして炊く「おかま」、ずいぶん使い古している黒くておこげらしきものもごびりついているものなど、今でも薪を燃やしてお団子の小豆を3時間炊きます。現物を持って教室でお話をしたの、で心に残っていたのかな。…でもうれしかったです。

他にも火鉢、煙草盆、それに一番気になるらしい昔のお札、100円、500円、千円、2千円、5千円、1万円もありました。子どもって大人に出会っても自ら挨拶をしてくる子はあまり見かけないですね。平和学習もプロジェクトを使ってお話ししました。



3年生 小郡地域のうつり変わり

令和6年1月26日(水)2-3時間目
講師に重田強子さんに講話を依頼して、小郡地域のうつり変わりについてお話ししていただきました。

重田さんの講話をまとめたもの

す。6年生は社会見学の前に地域の人からお話を聴くのですが、私が感動した一話は、子ども時代に京都で暮らしていた方が、戦争中大文字焼に火をつけることができないため、子どもたちが白いシャツを着て大文字の穴に入り大胆に動くことにより、ふもとで見ている人が大文字が燃えているように感じた…と話されたことです。アイディアが素晴らしいと思いました。そうしてまで伝統行事を実施した市民、協力した子

ご協賛各位へ御礼

このたびは、山口市老人クラブ連合会機関紙「シニア山口だより」に広告のご掲載を賜わり、誠にありがとうございました。本紙は会員の生きがい、健康、教養を高めるとともに会員相互の情報交換を願って発刊するものであります。以上の趣旨をご理解頂き、何卒末永きご厚誼、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。 山口市老人クラブ連合会

どもたち、なんて尊い大和魂でしょう。 老人クラブ活動の一環ですが、また昔のことを話せる人が健在で、世代間の交流のひとつになっていく中、いろいろなことをお互い情報交換しながら地域のコミュニティがさらに深まることを願っています。